

公益財団法人 日本サッカー協会
2024 年度 第 12 回理事会

2024 年 11 月 21 日

報告事項

1. 暑熱環境下におけるサッカー活動の件
(報告) 資料 1 地域・都道府県サッカー協会および各種連盟に対し、2024 年 11 月 12 日付けで暑熱環境下におけるサッカー活動についての周知文書を発信した。
2. 能登半島地震・豪雨災害復興支援活動の件
(報告) 資料 2 能登半島地震復興支援活動および 9 月に同地震の被災地で発生した豪雨災害の対応について、資料の通り報告する。 ※国内における自然災害等による被害に対する支援事業に関するガイドライン 4. (2) および (3) に基づき、能登半島地震復興支援プロジェクトにおいて実施決定した支援内容について報告するもの。
3. 国税庁広報大使任命の件
JFA は 10 月 22 日、国税庁初の「広報大使」に任命された。今後、試合会場の大型映像を使って税に関する情報を発信するなど、国税庁と連携して PR 活動を行っていく。
4. AFC アニュアルアワード 2023 の件
AFC アニュアルアワード 2023 が 2024 年 10 月 29 日に韓国・ソウルにて開催された。日本の受賞者は以下の通り。 AFC 年間最優秀監督賞 (男子) : 大岩剛 AFC 年間最優秀選手賞 (女子) : 清家貴子 AFC 審判特別賞 : 波多野祐一 AFC 年間最優秀協会賞 (プラチナ) : 日本サッカー協会 (参考) 【AFC アニュアルアワード 2023 受賞一覧】 AFC ダイヤモンドオブアジア : FIFA ジャンニ・インファンティーノ会長 AFC アジアカップホスト感謝賞 : カタールサッカー協会 AFC 会長特別貢献賞 : サウジアラビアサッカー連盟 AFC 年間最優秀協会賞 (プラチナ) : 日本サッカー協会 AFC 年間最優秀協会賞 (ダイヤモンド) : タイサッカー協会 AFC 年間最優秀協会賞 (ゴールド) : ネパールサッカー協会 AFC 年間最優秀協会賞 (ルビー) : ラオスサッカー連盟 AFC 年間最優秀地域連盟賞 : 中央アジアサッカー連盟

AFC 会長表彰グラスルーツ賞（ゴールド）	： オーストラリアサッカー連盟
AFC 会長表彰グラスルーツ賞（シルバー）	： インドサッカー連盟
AFC 会長表彰グラスルーツ賞（ブロンズ）	： ベトナムサッカー連盟
AFC 年間最優秀監督賞（男子）	： 大岩剛（日本）
AFC 年間最優秀監督賞（女子）	： Park Youn-jeong（韓国）
AFC 年間最優秀選手賞（男子）	： Akram Afif（カタール）
AFC 年間最優秀選手賞（女子）	： 清家貴子（日本）
AFC 年間最優秀フットサル選手賞	： Saeid Ahmad Abbasi（イラン）
AFC 年間最優秀アジア国際選手（男子）	： Son Heung-min（韓国）
AFC 年間最優秀アジア国際選手（女子）	： Ellie Carpenter（オーストラリア）
AFC 年間最優秀ユースプレーヤー（男子）	： Abbosbek Fayzullaev（ウズベキスタン）
AFC 年間最優秀ユースプレーヤー（女子）	： Chae Un Yong（朝鮮民主主義人民共和国）
AFC 審判特別賞	： 波多野祐一（日本）、 Truki' Abdullah Al Salehi（オマーン）、 Ibrahim Yousif Al Raeesi（アラブ首長国連邦）

※AFC 年間最優秀協会賞は FIFA ランキングに応じて 1 位から 12 位の協会をプラチナ部門、13 位から 24 位をダイヤモンド部門、25 位から 36 位をゴールド部門、37 位から 46 位をルビー部門に分類し、審査を実施した。FIFA ランキング対象外の北マリアナ諸島サッカー協会はルビーに分類された。

※AFC 会長表彰グラスルーツ賞は、AFC グラスルーツ憲章で認定するグラスルーツのレベル別カテゴリー（ゴールド、シルバー、ブロンズ）に分類し、審査を実施した。

5. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認（新規）の件

申請者（施設所有者）	： 高山市
施設名	： 大八グラウンド （岐阜県高山市漆垣内町 1500 番地 1）
使用製品	： MGC スポーツ株式会社 アストロピッチ DS N-50XC N01
公認期間	： 2024 年 11 月 21 日～2027 年 11 月 20 日
公認番号	： 第 281 号

6. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認（更新）の件

申請者（施設所有者）	： 上富田町
施設名	： 上富田スポーツセンター多目的グラウンド A コート （和歌山県西牟婁郡上富田町朝来 3871）
使用製品	： 住友ゴム工業株式会社 ハイブリッドターフ EX II-55T
公認期間	： 2024 年 11 月 21 日～2027 年 11 月 20 日
公認番号	： 第 108 号

7. 日本サッカー後援会 会員表彰の件

1977 年の日本サッカー後援会の発足以来、同団体から日本代表強化等のために毎年交付金を受けており、その累計は約 19 億円に上る。ついては、日本サッカー後援会会員の長年の援助に対する感謝

として以下の通り表彰する。なお、本件については表彰規則第6条に則り、2024年度第6回表彰委員会で承認された。

(1) 日本サッカー後援会会員在籍30年表彰

- ①対象 : 日本サッカー後援会会員として30年在籍した会員
- ②贈呈品 : 2025年中に日本代表戦1試合への招待および記念楯の贈呈
- ③被表彰者 : 41名
- ④備考 : 2008年度より表彰実施

※過去実績(直近10年) : 2024年8名、2023年32名、2022年40名、2021年21名、
2020年26名、2019年28名、2018年16名、2017年20名、
2016年16名、2015年13名

(2) 日本サッカー後援会会員在籍40年表彰

- ①対象 : 日本サッカー後援会会員として40年在籍した会員
- ②贈呈品 : 2025年中に日本代表戦1試合への招待および記念楯の贈呈
- ③被表彰者 : 10名
- ④備考 : 2016年度より表彰実施

※過去実績 : 2024年11名、2023年8名、2022年8名、2021年13名、2020年13名、
2019年35名、2018年29名、2017年なし、2016年41名

【参考】日本サッカー後援会からの交付金収入(過去10年)

2015年度 55,000千円 (JFA 34,000千円、なでしこリーグ5,000千円、JFL 5,000千円
日本フットサル連盟10,000千円、JFA ころのプロジェクト1,000千円)

2016年度 55,000千円 (JFA 35,000千円 (内、JFA ころのプロジェクト1,000千円
指導者養成海外研修留学費用10,000千円)、なでしこリーグ5,000千円、
JFL 5,000千円、フットサル連盟10,000千円)

2017年度 59,000千円 (JFA 35,000千円 (内、指導者養成事業10,000千円)、
なでしこリーグ5,000千円、JFL 5,000千円、フットサル連盟8,000千円、
障がい者サッカー連盟5,000千円、日本ビーチサッカー連盟1,000千円)

2018年度 57,000千円 (JFA 35,000千円 (内、指導者養成事業10,000千円)、
なでしこリーグ5,000千円、JFL 5,000千円、フットサル連盟6,000千円、
障がい者サッカー連盟5,000千円、ビーチサッカー連盟1,000千円)

2019年度 57,000千円 (JFA 35,000千円 (内、指導者養成事業10,000千円)、
JFA 夢フィールド建設寄付1,000千円、なでしこリーグ5,000千円、
JFL 5,000千円、フットサル連盟5,000千円、
障がい者サッカー連盟5,000千円、ビーチサッカー連盟1,000千円)

2020年度 55,000千円 (JFA 35,000千円 (内、指導者養成事業10,000千円)、
なでしこリーグ5,000千円、JFL 5,000千円、フットサル連盟5,000千円、
障がい者サッカー連盟5,000千円)

2021年度 50,000千円 (JFA 30,000千円、なでしこリーグ5,000千円、JFL 5,000千円、
フットサル連盟5,000千円、障がい者サッカー連盟5,000千円)

2022年度 50,000千円（JFA 30,000千円、なでしこリーグ 5,000千円、JFL 5,000千円、フットサルトップリーグ 5,000千円、障がい者サッカー連盟 5,000千円）
 2023年度 50,000千円（JFA 30,000千円、なでしこリーグ 5,000千円、JFL 5,000千円、フットサルトップリーグ 5,000千円、障がい者サッカー連盟 5,000千円）
 2024年度 50,000千円（JFA 30,000千円、なでしこリーグ 5,000千円、JFL 5,000千円、フットサルトップリーグ 5,000千円、障がい者サッカー連盟 5,000千円）

8. 海外遠征申請の件

(1) 一般社団法人宮城県サッカー協会

チーム : ベガルタ仙台ジュニアユース (第3種)

遠征期間 : 12月11日～12月17日

遠征先 : ベトナム/ホーチミン

(2) 特定非営利活動法人山形県サッカー協会

チーム : モンテディオ山形U-13 (第3種)

遠征期間 : 12月4日～12月10日

遠征先 : ベトナム/ハノイ

(3) 公益財団法人茨城県サッカー協会

チーム : 鹿島アントラーズジュニアユース (第3種)

遠征期間 : 12月11日～12月17日

遠征先 : タイ/ロブブリ

(4) 公益財団法人東京都サッカー協会

チーム : FC東京U-15 深川 (第3種)

遠征期間 : 12月12日～12月16日

遠征先 : ベトナム/ビンズオン

(5) 一般財団法人静岡県サッカー協会

チーム : 藤枝MYFCアカデミーU-18 (第2種)

遠征期間 : 12月21日～12月24日

遠征先 : 韓国/ソウル

(6) 一般財団法人静岡県サッカー協会

チーム : 清水エスパルスジュニアユース三島 (第3種)

遠征期間 : 12月10日～12月16日

遠征先 : ベトナム/ビンズオン

(7) 一般財団法人静岡県サッカー協会

チーム : ジュビロ磐田U-15 (第3種)

遠征期間 : 12月22日～12月25日

遠征先 : 韓国/釜山

(8) 一般社団法人山口県サッカー協会

チーム : レノファ山口ウエストFC U-15 (第3種)

遠征期間 : 12月25日～12月29日

遠征先 : 韓国/昌原

(9) 公益社団法人福岡県サッカー協会

チーム : アビスパ福岡 U-14 (第3種)

遠征期間 : 2025年2月16日~2月25日

遠征先 : イングランド/ロンドン

【事後報告】

以下の遠征は、事前申請されていなかったため、事後申請分として報告する。

(1) 一般社団法人神奈川県サッカー協会

チーム : 横浜F・マリノスジュニアユース (第3種)

遠征期間 : 10月24日~10月27日

遠征先 : 韓国/仁川

9. 国際競技会開催申請の件

(1) 申請団体 : (一社) 沖縄県サッカー協会

大会名 : 第25回沖縄トロピカルカップ国際少年サッカー大会

主催 : (一社) 沖縄県サッカー協会、那覇市サッカー協会

主管 : 那覇市サッカー協会 (少年部)

協賛 : 沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK 沖縄放送局、琉球朝日放送、琉球放送
沖縄テレビ放送 (予定)

後援 : 沖縄県、那覇市、那覇市教育委員会、NPO 法人那覇市体育協会
那覇市スポーツ少年団 (予定)

開催日 : 2024年12月21日 (土) ~ 22日 (日)

出場 : 48チーム

会場 : 奥武山陸上競技場、那覇新都心公園多目的広場、漫湖公園多目的広場、他

(2) 申請団体 : (一社) 沖縄県サッカー協会

大会名 : 2024年第2回 OKINAWA INTERNATIONAL CHANPURU CUP

主催 : (一社) 沖縄県サッカー協会

主管 : うるま市サッカー協会

後援 : うるま市、うるま市教育委員会

協力 : OKINAWA INTERNATIONAL CHANPURU CUP 実行委員会
株式会社アルバトロス BENE SPORTS

開催日 : 2024年11月23日 (土) ~ 24日 (日)

出場 : 25チーム (内、海外より11チーム)

会場 : うるま市具志川多種目グラウンド

10. 名義使用申請の件

(1) 申請団体 : 一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会

事業名 : 第8回パワーチェアーフットボールチャンピオンシップジャパン 2024

期間 : 2024年11月2日~11月3日

- 主催 : 一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会
協賛 : NRS 株式会社/株式会社イチケン/住友ベークライト
後援 : 公益財団法人日本パラスポーツ協会/公益財団法人日本サッカー協会/
一般社団法人日本障がい者サッカー協会/静岡県/袋井市/静岡県教育委員会/
袋井市教育委員会/公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会/
一般社団法人静岡県サッカー協会/社会福祉法人静岡県社会福祉協議会/
社会福祉法人袋井市社会福祉協議会/社会福祉法人静岡県身体障害者福祉会 (予定)
- 目的 : 本大会は我が国における身体障害者のスポーツ競技として、電動車椅子サッカーの普及、振興およびワールドカップに向けた技術の向上、選手の育成強化を図るために開催する。
- 内容 : 4 都道府県の一般社団法人電動車椅子サッカー協会の第 1 種登録チームの国内覇者を決定する全国大会
- 競技種目 : マックス 10 制限速度 10 km/h 以下で行う
- 競技規則 : パワーチェアフットボール競技規則 2020 に基づく
- 競技方法 :
- ①参加チームによるトーナメント戦方式。
 - ②大会初日は前後半 20 分ハーフ、ハーフタイム 10 分、アディショナルタイムなし。
 - ③大会 2 日目は前後半 20 分ハーフ、ハーフタイム 10 分、アディショナルタイムあり、前後半 5 分の延長戦・PK 戦 2 巡あり、決勝戦は 3 巡。
 - ④フレンドリーマッチあり

(2) 申請団体 : 株式会社 SPOWERTS

行事名称 : Sport in Life ウォーキングフットボール Day

場所 : 高円宮記念 JFA 夢フィールド (B ピッチ)

事業期間 : 2024 年 11 月 9 日

主催 : スポーツ庁/Sport in Life プロジェクト

後援 : 公益財団法人日本サッカー協会

協力 : 早稲田大学スポーツ科学学術院 金岡研究室

目的 :

スポーツ庁は、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、多くの人々がスポーツを楽しむ社会の実現を目指し「Sport in Life (生活の中にスポーツを)」プロジェクトを推進している。その一環としてプロジェクト加盟団体 (従業員を含む) の誰もが参加できるウォーキングフットボールを開催し、プロジェクトコンソーシアム加盟団体の活動周知と参画意識の向上、スポーツ庁室伏長官が考案したセルフチェック&コンディショニングの認知、普及の拡大ならびに Sport in Life プロジェクトコンソーシアムの認知拡大を図る。

内容 :

■参加者およびゲスト出演者によるウォーキングフットボール (最大 200 名程度を想定)

■参加者によるスポーツ庁室伏長官考案セルフチェック&コンディショニングの体験 等

(3) 申請団体 : NowDo 株式会社

大会名 : 4v4 JAPAN CUP 2024 RESPECT YOU, au

場所 : ZOZO PARK HONDA FOOTBALL AREA、LaLa arena TOKYO-BAY

事業期間 : 2024 年 12 月 24~26 日

主催 : NowDo 株式会社
特別協賛 : KDDI 株式会社
協賛 : 株式会社ユニクロ / Cy. games 株式会社 (予定) / その他
後援 : 公益財団法人日本サッカー協会 / 公益社団法人日本プロサッカーリーグ (予定) /
一般社団法人日本フットサルトップリーグ (予定) /
公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ (予定)
協力 : 未定
目的 : 全国の少年少女が目指すことのできる全国大会を開催
内容 : 地方ラウンドから 98 チームが参加し優勝を目指す。監督・コーチがベンチに入らないことで、選手の自立心や判断力、協調性などを育むことを主眼に置いた 4 人制サッカーの全国大会を実施する。

11. 裁定委員会に関する懲罰の件

裁定委員会より報告された懲罰案件について報告する。

12. 不服申立委員会の決定の件

不服申立委員会 (委員長 : 中島肇) より報告された決定 (2 件) について報告する。